

2017年12月期 第2四半期 決算説明会

2017年8月7日
JUKI株式会社
代表取締役社長 清原 晃

Mind & Technology

JUKI
Mind & Technology

目次

第1部 2017年12月期(2017年度)上期 業績の概要

- | | |
|---------------|---|
| 1. 業績推移・配当 | 3 |
| 2. 経常利益増減要因 | 4 |
| 3. 主要財務項目推移 | 5 |
| 4. セグメント別業績推移 | 6 |

第2部 中期経営計画(2017-2019)の取り組みと下期重点施策

- | | |
|------------------|----|
| 1. 中期経営計画の取り組み | 11 |
| 2. 通期業績予想 | 14 |
| 3. 2017年度下期 重点施策 | 16 |

第1部
2017年12月期(2017年度)上期
業績の概要

売上高は、ソリューション営業を推進する一方で、取引採算の見直しを含め収益性を重視した販売活動を展開したことから、前年同期比5.1%の減収。

利益面は、売上減少の影響はあったものの、上記販売施策、コストダウンによる利益率改善や、経費削減効果などにより、営業利益は前年同期比78.4%の増益。また、為替差損が縮小したことなどから、経常利益、当期純利益とも前年同期比で大幅の増益。

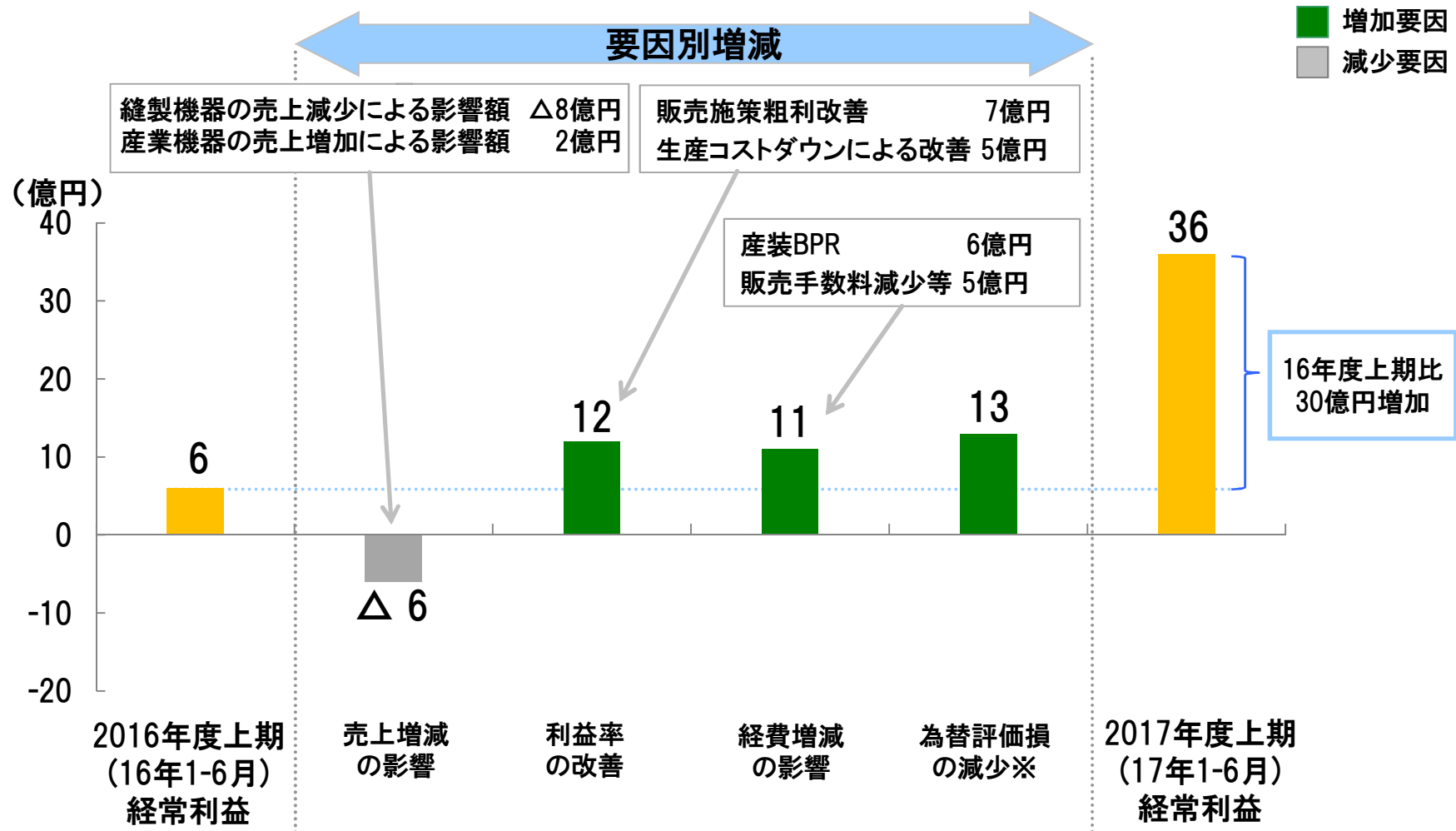
(百万円)

	16/12期 (16年度)						17/12期 (17年度)			前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			下期			上期			
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期	
	16年1-3月	16年4-6月	16年1-6月	16年7-9月	16年10-12月	16年7-12月	17年1-3月	17年4-6月	17年1-6月	
売上高	25,910	25,081	50,991	22,292	24,441	46,733	23,717	24,672	48,389	△2,602 (△5.1%)
営業利益	1,455 [5.6%]	573 [2.3%]	2,028 [4.0%]	748 [3.4%]	1,875 [7.7%]	2,623 [5.6%]	2,138 [9.0%]	1,480 [6.0%]	3,618 [7.5%]	1,590 (78.4%)
経常利益	831 [3.2%]	△225 [△0.9%]	606 [1.2%]	701 [3.1%]	1,715 [7.0%]	2,416 [5.2%]	2,241 [9.4%]	1,348 [5.5%]	3,589 [7.4%]	2,982 (491.9%)
当期純利益	650 [2.5%]	△882 [△3.5%]	△232 [△0.5%]	342 [1.5%]	1,773 [7.3%]	2,115 [4.5%]	1,527 [6.4%]	877 [3.6%]	2,404 [5.0%]	2,637 (—)
配当	—	—	<中間配当> 0円/株	—	—	<期末配当> 20円/株	—	—	<中間配当> 0円/株	0円/株
為替 レート	ドル 117円 ユーロ 129円	108円 121円	113円 125円	103円 115円	111円 119円	107円 117円	114円 121円	111円 124円	113円 122円	0円 △3円

* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート

* []は売上高利益率

売上減少の影響はあったものの、収益性を重視した販売活動の展開や生産のコストダウンによる利益率改善、経費削減効果などにより、前年同期比で大幅の増益。



※為替評価損:2016年度上期△13億円に対し、2017年度上期は0億円

1-3

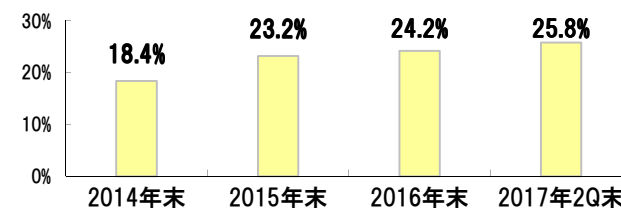
主要財務項目推移

- 営業キャッシュフローは56億円増加。
- 有利子負債は、現預金控除ベースで△46億円減少。
- 自己資本比率は1.5%増加と着実に改善。

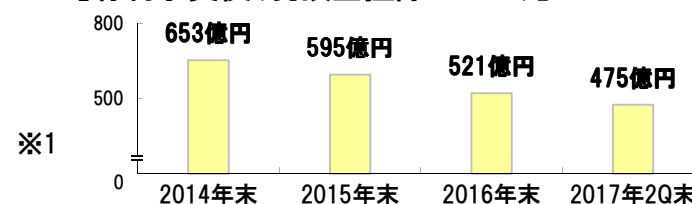
(百万円)

	16/12期末 (16年12月末) 〈A〉	17/12期 2Q末 (17年6月末) 〈B〉	増減額 〈B-A〉
総資産	111,365	110,486	△878
純資産 [為替換算調整勘定]	27,582 [△2,274]	29,013 [△2,679]	1,431 [△405]
純資産比率	24.8%	26.3%	1.5%
自己資本比率	24.2%	25.8%	1.5%
売上債権 [売上債権回転期間]	30,741 [3.8ヵ月]	28,236 [3.5ヵ月]	△2,505 [△0.3ヵ月]
在庫 [在庫回転期間]	37,616 [4.6ヵ月]	38,127 [4.7ヵ月]	511 [0.1ヵ月]
仕入債務 [仕入債務回転期間]	9,972 [1.8ヵ月]	11,863 [2.2ヵ月]	1,890 [0.4ヵ月]
有利子負債	60,157	56,425	△3,732
現預金	8,048	8,947	899
為替レート (期末)	ドル		
	116円	112円	△4円

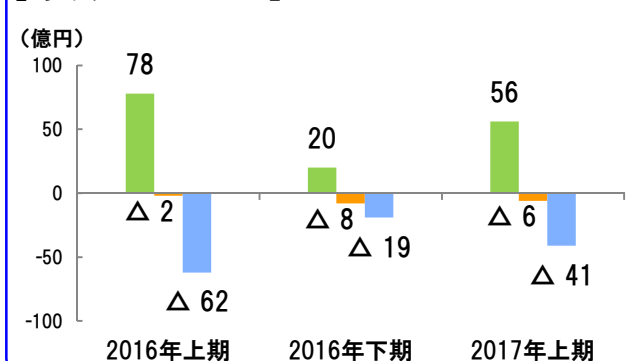
【自己資本比率】(※1)



【有利子負債(現預金控除ベース)】(※2)



【キャッシュ・フロー】 営業CF 投資CF 財務CF



縫製機器&システムは、市場別では欧米の売上が好調に推移し、中国の売上も回復基調にあるものの、アジア市場における一部地域での売上が伸び悩んだこと、製品別ではカーシート向けなどのノンアパレルの分野では売上が拡大したものの、アパレル市場向けの売上が減少したことなどから、前年同期比9.8%の減収。

産業機器&システムは、市場別では最大の市場である中国をはじめとして、設備投資需要の拡大に支えられて売上が堅調であったこと、製品別ではスマートファクトリー提案で展開する省力化装置、受託加工等のグループ事業が伸びたことなどから、前年同期比6.3%の増収。

(百万円)

	16/12期 (16年度)						17/12期 (17年度)				前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			下期			上期				
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期		
	16年1-3月	16年4-6月	16年1-6月	16年7-9月	16年10-12月	16年7-12月	17年1-3月	17年4-6月	17年1-6月		
縫製機器 &システム	18,131	17,971	36,102	15,736	17,403	33,139	15,989	16,573	32,562	△3,540 (△9.8%)	
産業機器 &システム	7,698	7,027	14,725	6,473	6,950	13,423	7,644	8,015	15,659	934 (6.3%)	
その他	79	85	164	83	88	170	82	84	166	2	
合計	25,910	25,081	50,991	22,292	24,441	46,733	23,717	24,672	48,389	△2,602 (△5.1%)	
グループ 事業	2,032	2,225	4,257	2,109	2,295	4,404	2,469	2,723	5,192	935 (22.0%)	

縫製機器&システムは、収益性を重視した販売活動の展開やコストダウン効果などにより、前年同期比24.6%の増益。

産業機器&システムは、利益率の改善やこれまで進めてきた構造改革による費用削減効果などにより前年同期比大幅の増益。

(百万円)

	16/12期 (16年度)						17/12期 (17年度)				前年同期比 増減額 <B-A> (増減率)
	上期			下期			上期				
	1Q	2Q	上期<A>	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期		
	16年1-3月	16年4-6月	16年1-6月	16年7-9月	16年10-12月	16年7-12月	17年1-3月	17年4-6月	17年1-6月		
縫製機器 &システム	1,607 [8.9%]	689 [3.8%]	2,296 [6.4%]	944 [6.0%]	1,012 [5.8%]	1,956 [5.9%]	1,815 [11.4%]	1,048 [6.3%]	2,863 [8.8%]	567 (24.6%)	
産業機器 &システム	△154 [△2.0%]	△268 [△3.8%]	△422 [△2.9%]	60 [0.9%]	299 [4.3%]	359 [2.7%]	593 [7.8%]	536 [6.7%]	1,129 [7.2%]	1,551 (-)	
その他	4 [5.1%]	34 [40.0%]	38 [23.2%]	9 [11.0%]	△4 [△4.5%]	5 [2.9%]	10 [12.2%]	10 [11.9%]	20 [12.0%]	△18	
調整額	△626	△680	△1,306	△311	407	96	△177	△247	△424	881	
合計	831 [3.2%]	△225 [△0.9%]	606 [1.7%]	701 [3.1%]	1,715 [7.0%]	2,416 [5.2%]	2,241 [9.4%]	1,348 [5.5%]	3,589 [7.4%]	2,982 (491.9%)	

(参考①)

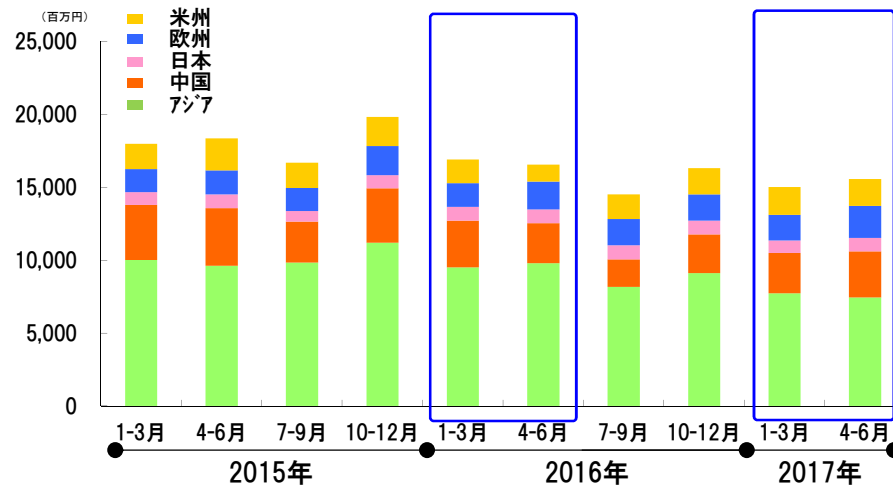
セグメント別業績 縫製機器&システム



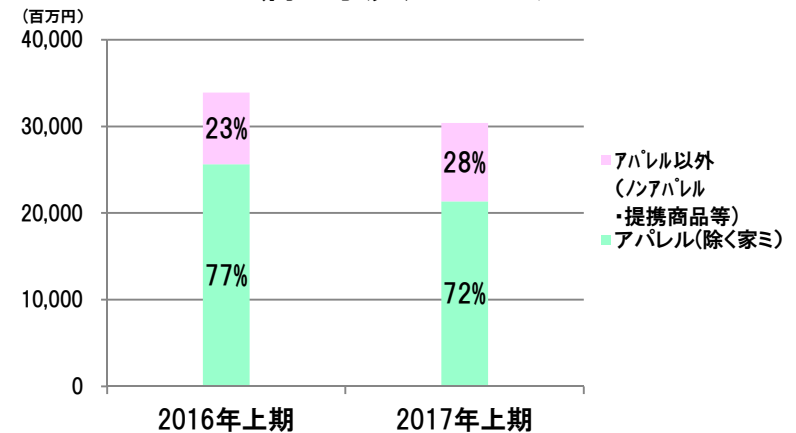
中国は2Qより回復基調。

米州はノンアパレル、欧州はアパレルを中心に好調に推移。

【工業用ミシンの地域別売上高推移】(月次集計ベース)



【アパレル・アパレル以外の売上高比率推移】(除く家庭用ミシン)



【売上高:前年同期比較】

(億円)

	2016年 (1-6月)	2017年 (1-6月)	増減額	増減率
アジア	194	152	△42	(△22%)
中国	59	59	0	
日本	19	18	△1	
欧州	35	40	5	(+12%)
米州	28	38	10	(+34%)
合計	335	306	△29	(△9%)

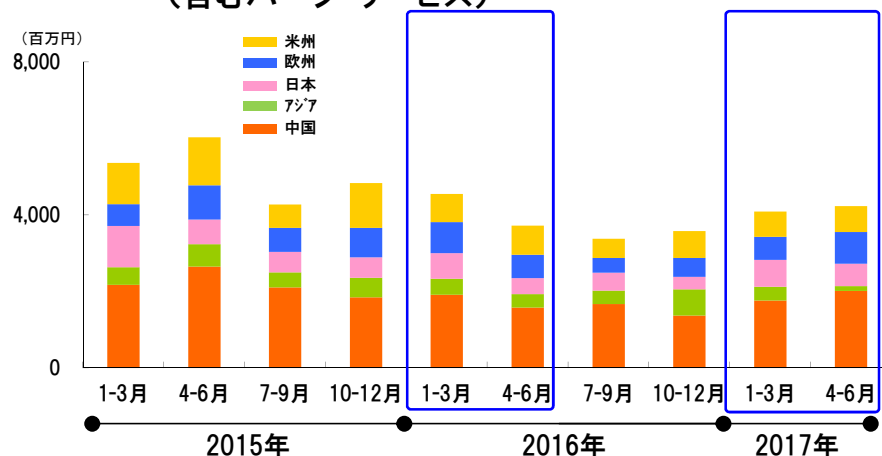
(参考②)

セグメント別業績 産業機器&システム

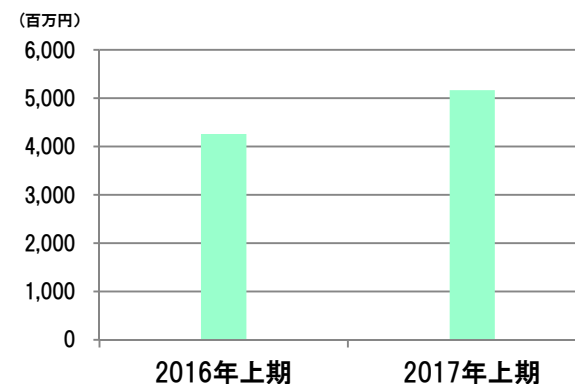


中国における設備投資需要回復、省力化装置や、受託加工等のグループ事業が順調に伸長。
 (グループ事業は年間売上高100億円を展望)

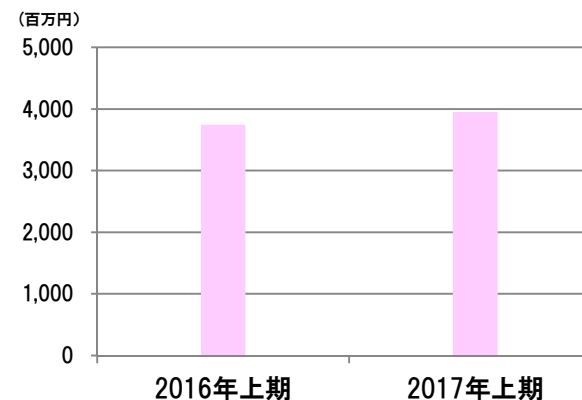
【産業装置の地域別売上高推移】(月次集計ベース)
 (含むパーツ・サービス)



【グループ事業の売上推移】



【パーツ事業の売上推移】



【売上高:前年同期比較】

	(億円)		増減額	(増減率)
	2016年 (1-6月)	2017年 (1-6月)		
中国	35	38	3	(+8%)
アジア	8	5	△3	
日本	11	13	2	
欧州	14	14	0	
米州	15	13	△2	
合計	83	83	0	

第2部

中期経営計画(2017-2019)の取り組みと 2017年度下期の重点施策

■ ビジョンを実現するグローバル人材の育成と活用

■ スマートな事業基盤の構築

■ ソリューション営業での価値創造力の強化

■ 財務体質の強化による自己資本の積み上げ

■ 将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出と強化

経済環境

- 世界経済の不透明・不確実な状況は継続
 - ・TPP不参加(米国)、EU離脱(英国)
- 電子部品・工作機械業界の設備投資需要は好調
 - ・情報通信(IoT)分野の技術革新、労働人口不足

顧客ニーズ

- スマートカンパニー・ファクトリーへ積極投資
 - ・デジタル化、システム化、自動化ソリューションの導入
- 新しいイノベーション(技術革新)への期待
 - ・AI、ロボット、クラウド 等への関心拡大

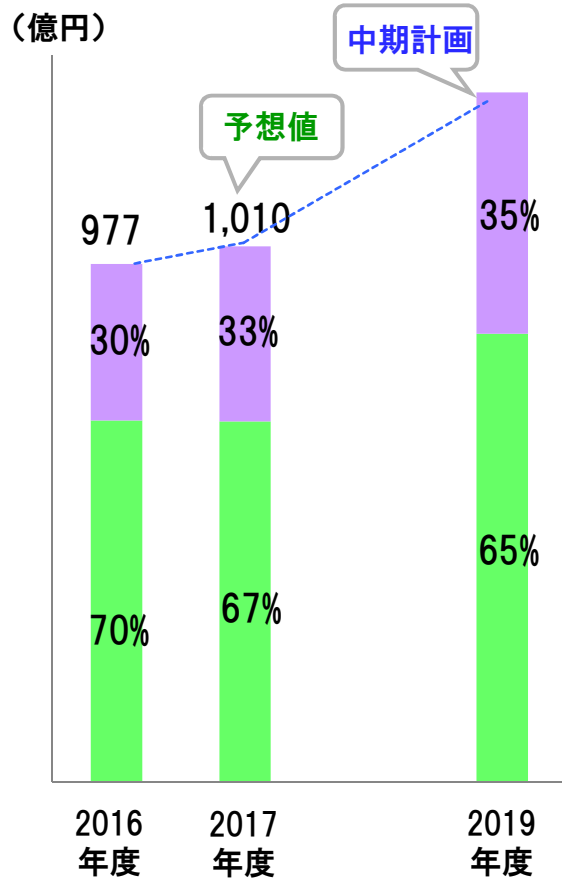
企業への要請

- 経営体制の合理化
 - ・コーポレートガバナンス体制の強化、グローバルな対応体制
- 利益重視の経営
 - ・毎年の増収増益、配当の安定化、自己資本の拡充

【売上高】

(目標: 年間 9%増収)

2017年度 予想値1,010億円

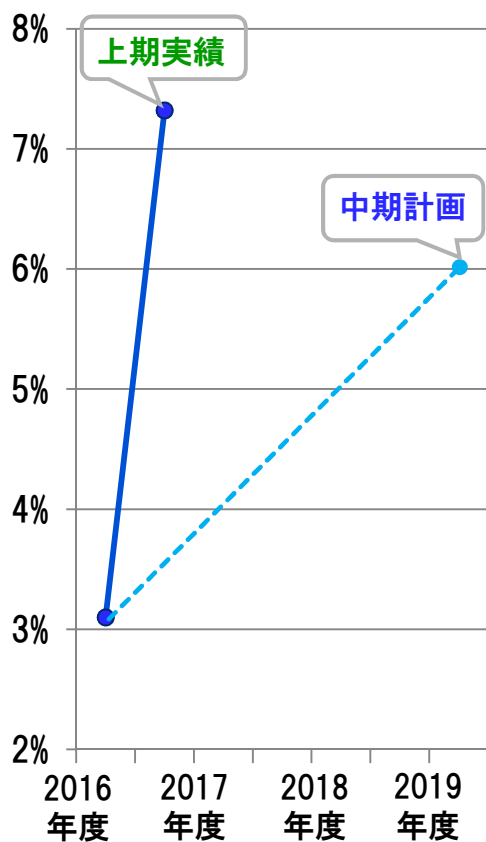


■ 産業機器&システム事業
■ 縫製機器&システム事業

【経常利益率】

(目標: 2019年度 6%以上)

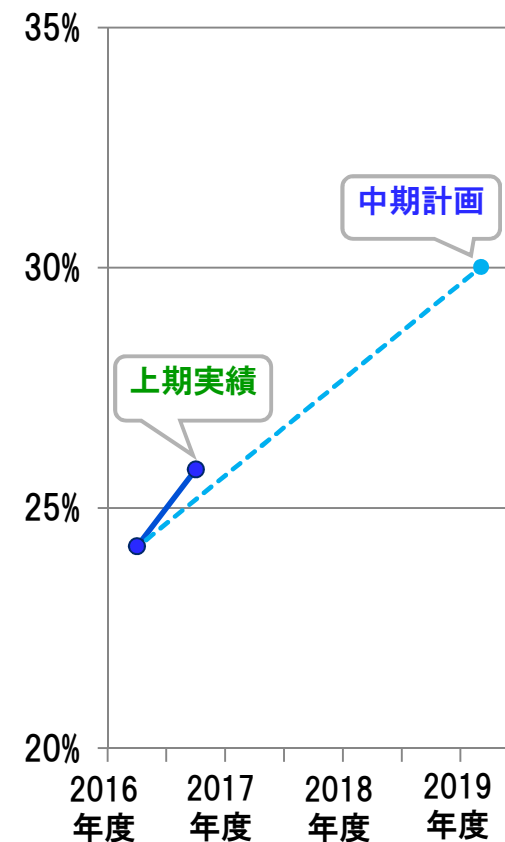
上期 実績7.4%



【自己資本比率】

(目標: 2019年度末 30%以上)

上期 実績25.8%



下期の
経営方針

縫製機器
&システム

産業機器
&システム

財務基盤の強化

新規開拓、新商品拡販、ソリューション提案力の強化、高付加価値分野へ資源再配分

新商品拡販、ソリューション提案力の強化、ユニット内のシナジー発揮

在庫・有利子負債の削減などを徹底

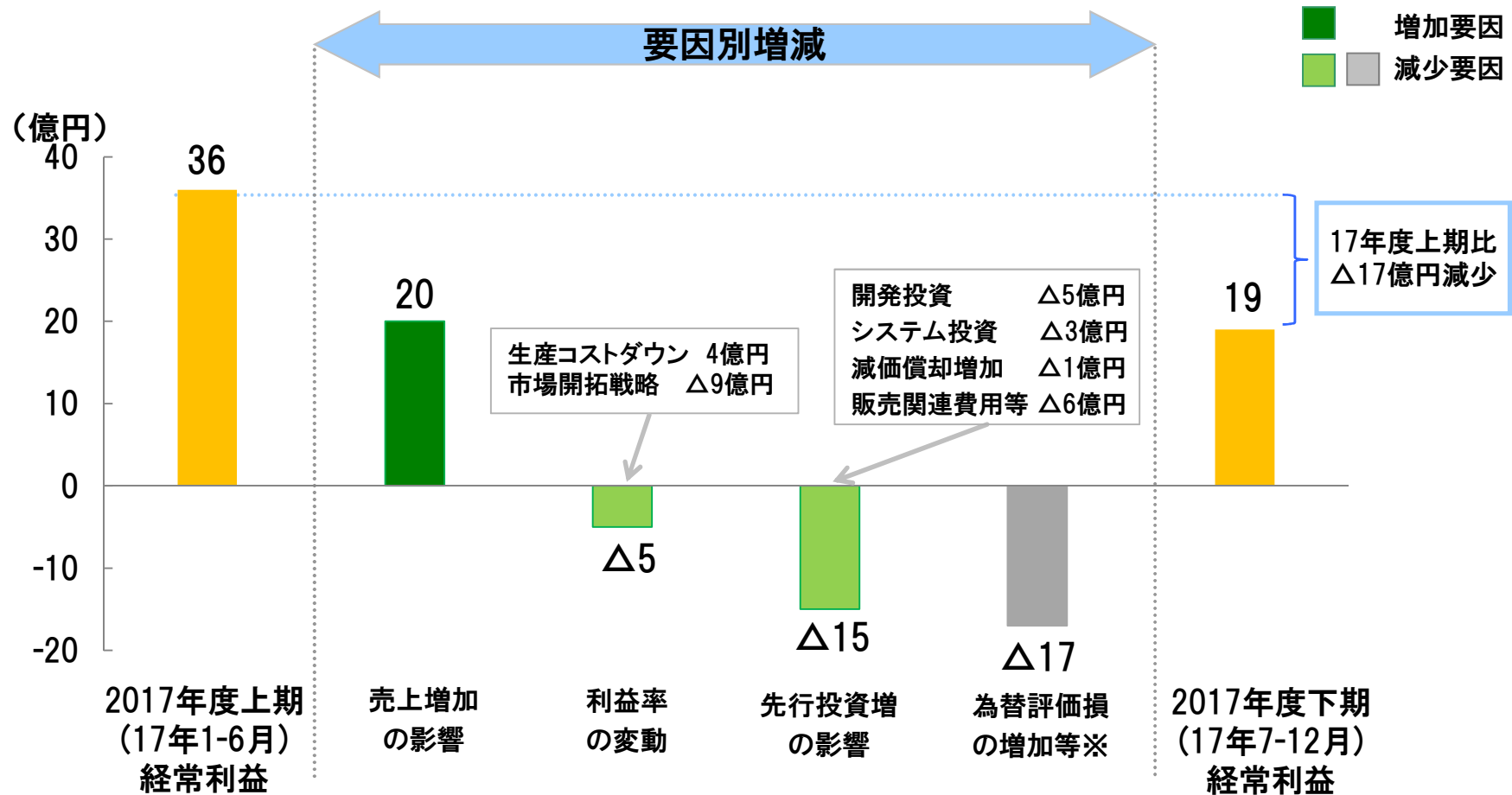
継続的な
増収増益
基盤の確立

	(億円)			【参考】	(億円)	
	2016年度 実績	2017年度 業績予想(前回)	2017年度 業績予想(今回)		2017年度 上期(1-6月) 実績	2017年度 下期(7-12月) 予想
	通期(1-12月)	通期(1-12月)	通期(1-12月)			
売上高	977	1,010	1,010	484	526	
(縫製機器&システム)	(682)	(700)	(680)	(325)	(355)	
(産業機器&システム)	(295)	(310)	(330)	(157)	(173)	
営業利益	47	48	60	36	24	
経常利益	30	37	55	36	19	
当期純利益	19	22	35	24	11	
配当	通期:20円/株	通期:20円/株	通期:20円/株	—	期末:20円/株	
為替レート	1ドル=110円	1ドル=105円		1ドル=113円	1ドル=105円	

前年比
3.4%

利益率
5.4%

売上増加による増益20億円や生産コストダウン効果4億円を見込む一方、将来に向けた戦略的投資(市場開拓費用、開発投資、システム投資)等を積極的に実施することにより△17億円の減益。



※うち為替評価損△15 : 2017年度上期0億円に対し、2017年度下期は△15億円の計画(想定レート:1ドル=105円)

製品別
戦略

布帛・自動機

・デジタルソーイングシステムでのスマートファクトリー提案

ニット

・ソリューション提案によるハイエンドユーザー攻略

ノンアパレル

・拡大する自動車関連需要の取り込み

提携商品

・パッケージ商品によるワンストップソリューション

市場別
戦略

・アジア地域における需要取り込み強化

新規顧客開拓、新商品拡販、スマートソリューション提案

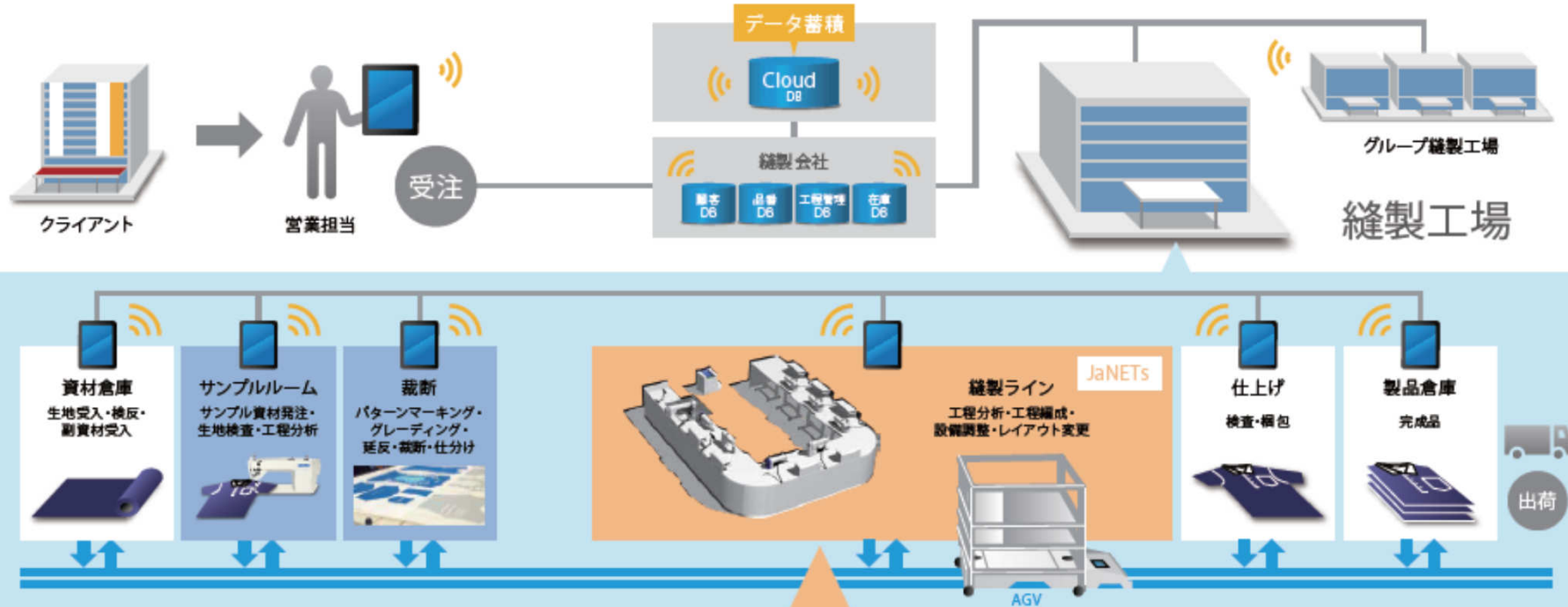
・欧米での自動車市場攻略ノウハウを中国、アジア市場で水平展開

2-3-1-2

下期重点施策 縫製機器&システム事業(工業用マシン)

JUKI
Mind & Technology

JUKIが提案する縫製のスマートファクトリー



製品別
戦略

家庭用ミシン

- ・新製品の販売拡大
- ・量販店、路面店等での販売強化

ロックミシン

- ・ヘビーユーザー向けロックミシンの販売拡大

キルト・職業用

- ・新製品の販売拡大
- ・キルトミシンQVPのシリーズ化充実による販売及び販路の拡大

市場別
戦略

- ・日本、米国、欧州
新製品やキルトミシンなど高付加価値製品を中心に販売拡大
展示会やワークショップ等での情報発信強化
- ・アジアの販売網を整備・拡充

2-3-2-2

下期重点施策 縫製機器&システム事業(家庭用ミシン)

JUKI
Mind & Technology



家庭用ミシン

ロックミシン

Home Sewerの創造性をサポートする
JUKIの家庭用ミシン

QVPファミリー

職業用ミシン

キルト用ミシン



製品別
戦略

マウンター

・RS-1(新製品)販売拡大

検査機

・RV-2-3D(新製品)販売拡大

省力化装置

・JMシリーズを核としたライン提案

自動倉庫

・自動搬送機を絡めた自動化提案

市場別
戦略

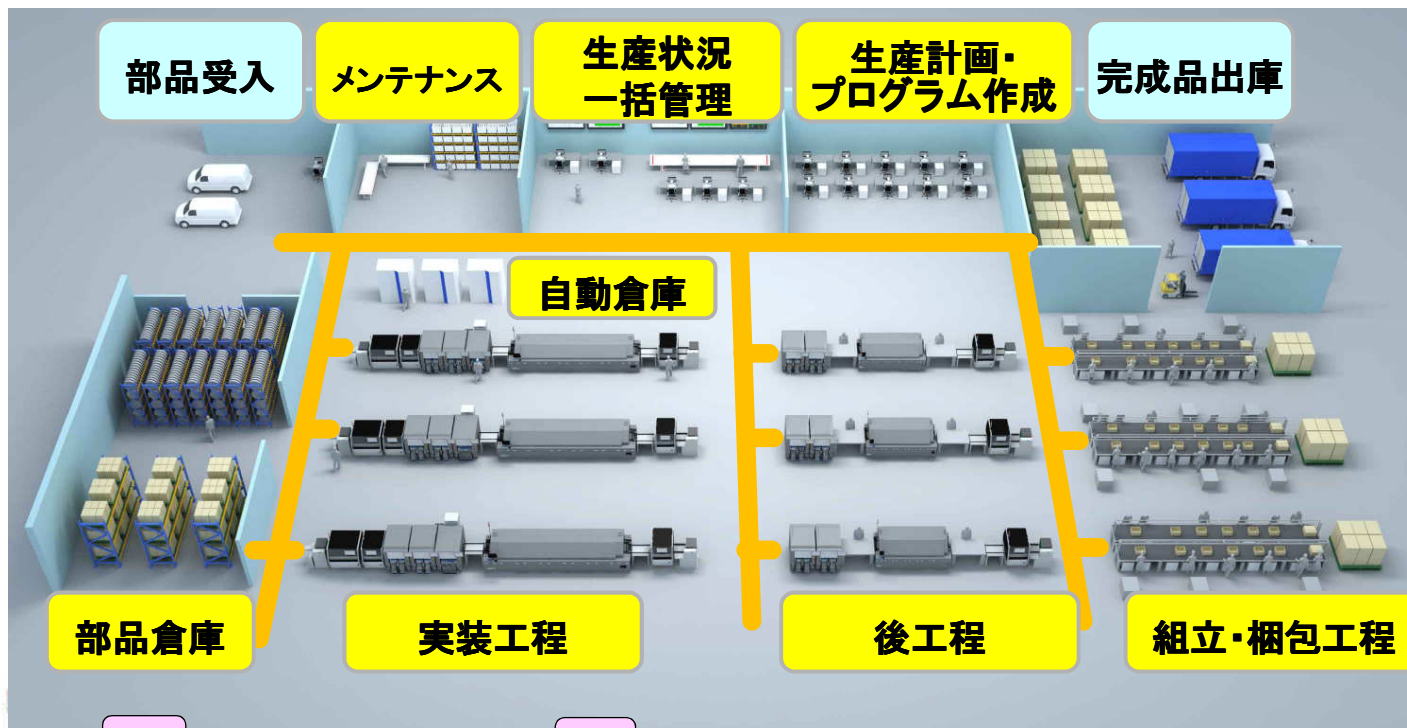
・クロスボーダー案件の捕捉強化

・中小EMSから、メーカー・車載・大規模EMSへターゲット拡大

・省力化装置、自動倉庫、検査機を切り口に新規顧客開拓を推進

スマートファクトリー提案への取り組み

JUKIのスマートソリューションが関連する領域



New



New

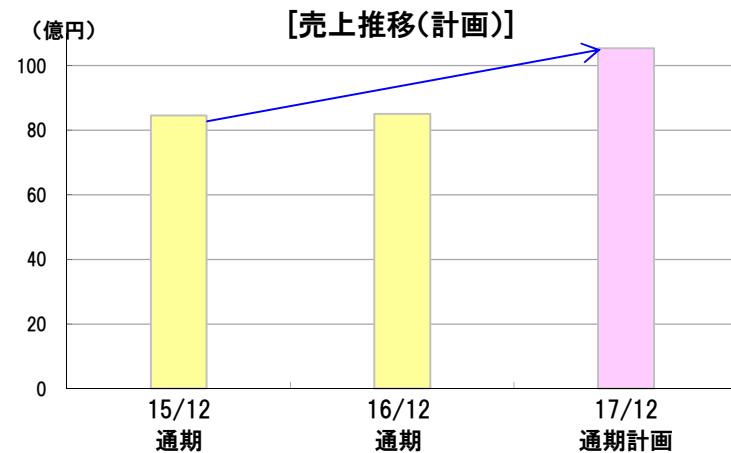
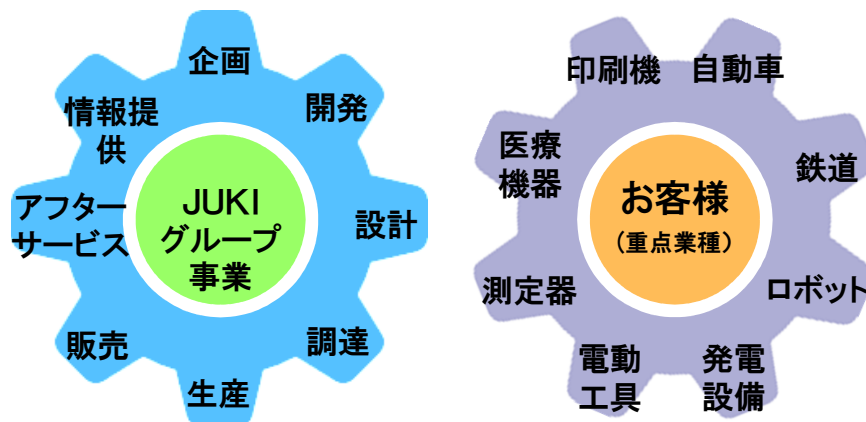


New

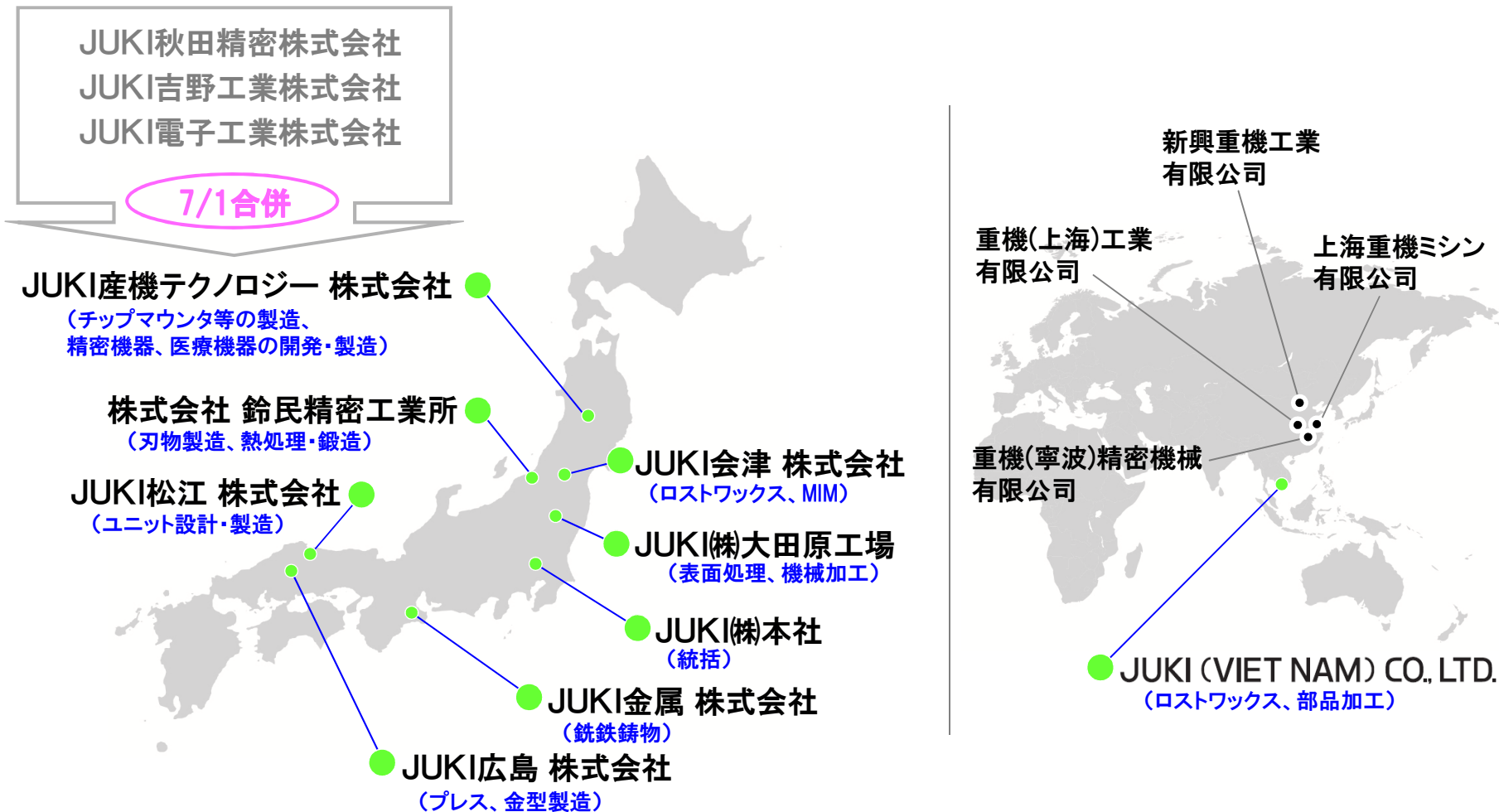


重点
施策

- ・重要顧客の間口拡大による売上拡大
展示会・商談会・コンサル等による商談機会拡大
- ・独自製造技術、独自製品の商品化による売上拡大
完成品・ユニット受託強化
- ・JUKI電子工業、JUKI吉野工業、JUKI秋田精密 ⇒7/1合併
= **JUKI産機テクノロジー** ~生産設備再配置、間接コスト低減



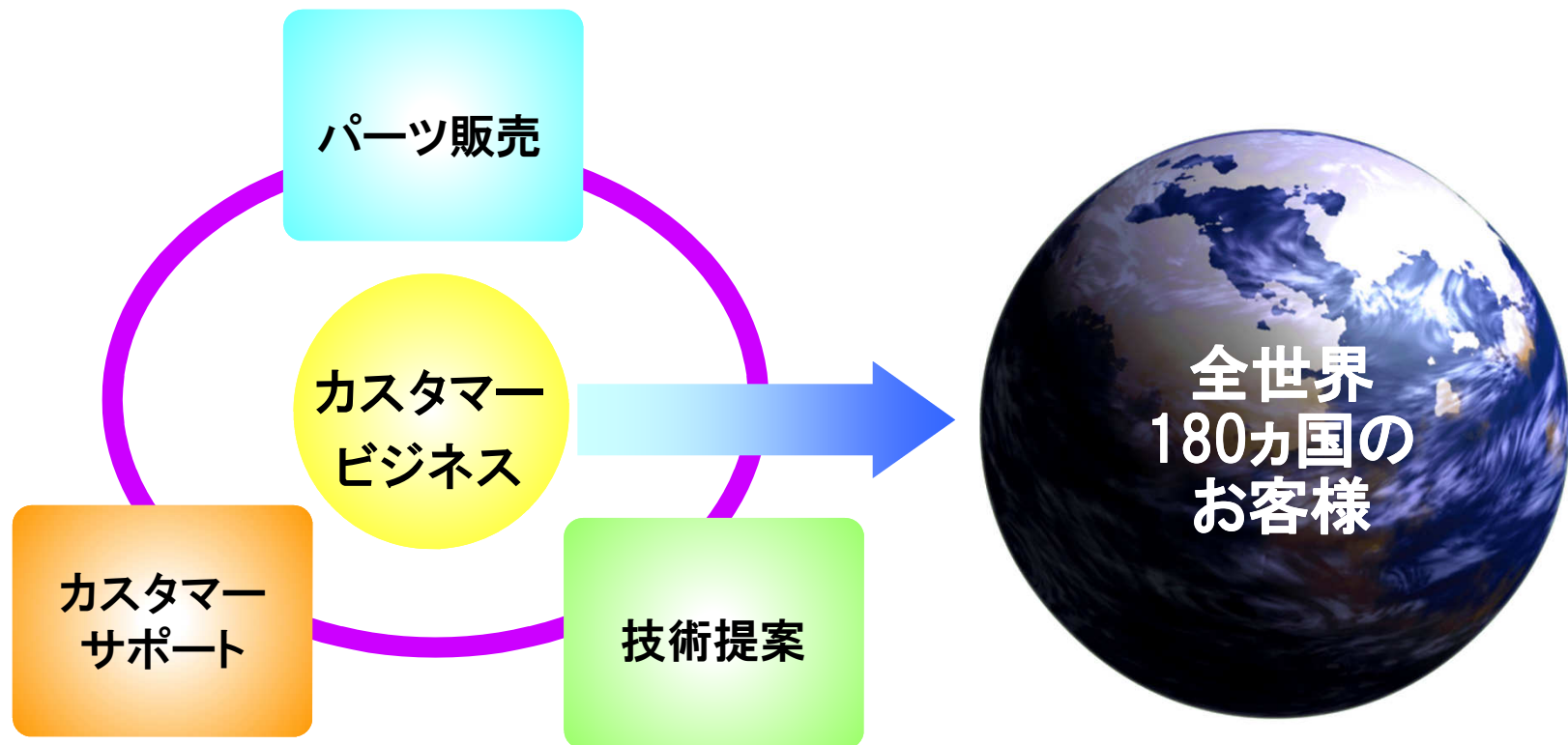
生産グループ会社(国内7社、海外1社)による、JUKIのものづくり力とネットワークを活用



重点
施策

- ・ネットセールス(パーツWebサイトの活用)によるパーツ・装置の販売拡大
既存顧客のサイト活用促進、展示会での広告宣伝活動
- ・JUKI製品関連パーツの納品体制強化
生産部門との連携による供給体制整備
- ・ワールドワイドの販売網の活用
販促ツール・拡販アイテムの拡充、製品営業との連携強化

縫製機器、産業装置のお客様に、パーツ販売、カスタマーサポート、技術提案を
ワンストップかつ迅速にご提供し、お客様へのサービスを大きく拡充



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

JUKI株式会社

お問合せ先： 財務経理部 担当：南

TEL :042-357-2391 FAX :042-357-2392

ホームページURL： <http://www.juki.co.jp/>

